

一般質問 (1)

一般質問の要旨

第1回定例会では、2月28日の代表質問とは別に3月1日から3日までの3日間にわたり23人の議員が一般質問を行いました。ここでは、一般質問で行われた主な質問内容についてお知らせします。詳細については、ご覧になりたい場合は、会議録をご覧ください。なお、質問内容については、各質問議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

凡例
自由民主党西東京市議団 (自民)
西東京市議会公明党 (公明)
日本共産党西東京市議団 (共産)
みんなの党西東京 (みんな)
生活者ネットワーク (ネット)
民主党西東京 (民主)
無所属 (無所属)

与党5人落選、原因は市長の失政 野党は報酬引き下げを提案せよ!

森 てるお (無所属)

市長は市議会議員選挙の結果をどう評価しているのか。

予想を上回る中央政治の風が吹いた結果だ。民主党に比して新党に期待が集まった。

落選した現職はすべて市長の与党。中央政治の風だけでなく、市長の失政、議員報酬引き上げによる落選だ。風のせいにはせず、

市長は真摯に反省しなければいけない。市長は給料の20%削減で再選されたが、議員は今月初めて評価を受けた。与党現職5人の落選は市長に対する批判だと考えないのか。

重く受けとめるが、地方議会は二元代表制だ。私は2年前に審判を受けている。皆さんは議会人として選ばれている。

市民に増税を求める前にまずは市長や議員の身をみずから切るべき!

石田 しこう (みんな)

新年度予算案は下水道料金の値上げ、寝たきり高齢者向け紙おむつ給付サービスの有料化など市民に増税を求める内容である。

政治家である市長と議員の報酬を削減するなどして、市の借金(市債残高)580億円を削減し、元利と利息の支払い(公債費年間58億円)を削減すれば、これらの増税はそもそも不要となるのではないか。

市長 市債の活用によって公共施設の建て替え・整備等を実施し、まちづくりを大きく進めてきた。市の借金は市民1人当たり約29万円であるが、実質公債費比率は全国1千800の自治体の

田無駅南部地域の道路整備を! 安全対策・防犯対策を急げ!

大林 光昭 (公明)

田無駅南部地域の整備
田無駅南口駅前広場の完成予定時期は、また、田無駅東側踏切の立体交差等安全対策の見直しは。



田無駅東側踏切

踏切対策は、東京都と西武鉄道に要望していく。
IHI跡地周辺道路の早期整備を要望する。
今後も精力的に用地交渉を行い、早期に交通安全に努めたい。

通学路の危険箇所情報や改善要望等を集約し、安全対策を講ずるための計画は策定されているか。
計画に基づいた安全対策は非常に大事なことで、今後検討していきたい。
福祉作業所等の枠拡大へ、新体系事業への移行支援と増設を要望する。
新体系事業への移行

通学路の危険箇所情報や改善要望等を集約し、安全対策を講ずるための計画は策定されているか。
計画に基づいた安全対策は非常に大事なことで、今後検討していきたい。
福祉作業所等の枠拡大へ、新体系事業への移行支援と増設を要望する。
新体系事業への移行

大規模震災時等から、市民を守る情報 システムの開発と運営を!!

青山 敏也 (公明)

災害時の市民生活を守るため、情報システム再構築にBCP(事業継続計画)の体制は万全か。

主要データ等は、震度7を想定して構築している。緊急事態に備え、強化に努める。

システム最適化に当たり、無駄を排した体制で実施されているか。

災害時の市民生活を守るため、情報システム再構築にBCP(事業継続計画)の体制は万全か。
主要データ等は、震度7を想定して構築している。緊急事態に備え、強化に努める。

高齡化が進む社会において、交通機関の不便な地域解消を!
地域に合ったサービスのあり方を先進市の状況を踏まえ、既存施策と比較して研究を実施する。

いじめ・不登校問題を根絶せよ! 学童は預かり延長を推進せよ!

森田 いさお (みんな)

いじめ問題にどのように対応しているのか。定期的なアンケート調査・個別相談等を通して児童・生徒の発する小さなサインを見逃さないようにして、早期発見・早期解決を図っている。

不登校児童・保健室通学児童対策の現状は。保健室通学児童に對しては、担任や養護教諭等が個別に学習指導や相談に応じている。また、不登校児童に對しては、小中連携による中1不登校未然防止の取り組みとして、教諭を委員として選出した不登校対策委員会を設置して、未然防止を図っている。

いじめ問題にどのように対応しているのか。定期的なアンケート調査・個別相談等を通して児童・生徒の発する小さなサインを見逃さないようにして、早期発見・早期解決を図っている。

老後を支える介護基盤の整備を! 待機児童の保護者の生活は深刻!

藤田 美智子 (公明)

「はなバス」が入り込めない地域に、デイサービス等の送迎車両を活用した買い物弱者支援の柔軟な



仕組みを作れないか。事業者との契約により他の用途の使用は困難。日々の介護疲れから家族を守る支援の拡充を。
今後さらに充実できるように努力してまいりたい。
聴覚障害者450人に対し、登録手話通訳者はわずか11人である。聴覚に障害があっても行動範囲は私たちが変わらない。不便のないよう、また希望する社会参加ができるよう手話通訳者養成コース開校を求める。

「はなバス」が入り込めない地域に、デイサービス等の送迎車両を活用した買い物弱者支援の柔軟な

広げるため初級・中級・上級コースに加え平成23年度から実施を予定している。保育園待機児童の保護者の生活状況は深刻。この15年間に子育て世代の月収は116万円以上減少した。共働きをしないと家のローンが払えない、育児休業中で早く入園先を見つけないと仕事をやめざるを得ないという方も増えている。
家庭状況の把握に努めるとともに、今後もきめ細やかな対応を心がける。
校庭の芝生化の養生中は、近隣の学校同士でグラウンド使用の協力体制を。
学校とも協議の上、対応について研究していく。